HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	サブカルサプリ第28回 ： 土師祭に見るまつりの本質 ： 地縁と趣味縁が併存
Author(s)	山村, 高淑
Relation	埼玉新聞2014年9月7日版、特集「サイタマニア」、p.2
Citation	埼玉新聞
Issue Date	2014-09-07
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/56909
Type	article
File Information	20131123Saitamania subcul supple No.28.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

山村高淑教授の サブカルサプリ

アニメや漫画の舞台地が多いサブカル王国・埼玉。その魅力を「アニメツーリズム」の専門家、山村高淑氏が紹介する。

土師祭に見る まつりの本質

地縁と趣味縁が併存

千貫神輿と「らき☆すた神輿」共演の意味

土師祭の最大の見どころは、何と言っても関東最大級と言われる「千貫神輿(みこし)」の渡御(神が神輿に乗り、鎮座する神社から地域内へ赴くこと)です。まさにこの渡御こそ、神と人との交渉という意味での「まつり」の中核でもあります。

この土師祭に2008年から、もう一つ見どころが増えました。「らき☆すた神輿」です。しかも、ただ単に神輿が飾られるというのではなく、毎年全国から有志の担ぎ手さんたちが結集し、「千貫神輿」とともに町内を練り歩くのです。とりわけ、鷲宮神社鳥居前で両神輿が並ぶ瞬間は圧巻です。

私自身は、この両神輿の共演こそ、アニメ聖地の究極のあり方の一つだと感じています。というのも、両神輿が並ぶということは、地縁(地域)社会の信仰対象と、趣味縁(らき☆すたファン)の信仰対象が同じ時空間に併存しているわけで、地縁・趣味縁双方のコミュニティーが、お互いに相手の信仰対象・想いを受け入れていることを意味するからです。

「神」作品だからこそ

さらに本質的な面で興味深いのは、「らき☆すた」のキャラクターが神輿に乗っている、つまりキャラクターが神聖性を獲得し、ある種「神」的な地位を獲得しているという点です。ここで重要なのは、本当の「神」であるかどうかという点ではありません。作品世界と登場人物を神聖なものとして、いわば「神」作品として大切に想うファンの気持ちです。

まさにこうした「想い」が「聖地巡礼」を生むわけですし、土師祭においても、対象は違えど「熱い想い」という意味において、地域社会と共有できるものがあるわけです。

これも、美水かがみ先生が描かれた作品世界、キャラクター設定があったからこそです。特にかがみとつかさは、巫女という聖性を併せ持つキャラクターとして、鷲宮神社・土師祭というイメージと融合していきました。こうしたキャラクターが、まさに地域の信仰とファンの信仰との接点となり、両者間の通訳になったと言っても過言ではないと思います。

巡礼・まつり、そしてご利益

「日本民俗大辞典」(2000年、吉川弘文館)では、「まつり」の特徴として以下4点を挙げています。①「神人交流の神話世界を体現する」②「祭祀対象の真偽を問うことは意味がなく、(中略)虚構世界を真剣に経験し合う」③「現実の利害対立や矛盾を留保し、社会の蘇りを果たす」④「神霊や祖霊という外部性を通じて、現実を批判的に見つめ直す」。これらの特徴について、神というところをキャラクターに、神話世界を作品世界に置き換えてみれば、不思議とアニメ聖地巡礼にも当てはまります。

でも実はこれ、不思議なことではありません。「巡礼」も「まつり」も、同様の機能を持つからです。すなわち、文化人類学で言うところの「コミュニタス」(地位や肩書など日常社会での差異・秩序が消滅し、心的な一体感を得る状態)的状況を生み出す仕掛けとしての機能です。

土師祭をはじめ、龍勢祭りやぼんぼり祭りなど、アニメコンテンツが地域のまつりに融合する事例が各地で見られるようになりましたが、これを、地縁社会とファン社会が混じり合って「コミュニタス」的状況を生みだした例と捉えたらどうでしょうか。ひょっとしたら、こうした方向性は、情報社会・ネット社会における、これからの巡礼・まつりのあり方を先取りしているのかも知れません。

いずれにしても、普段の地位や肩書を捨て、思いっきり楽しむのがまつりの本質です。加えて、土師祭では露店や野外イベントも盛りだくさんです。本来民俗的に、まつりの露天商や興業者は人々に福をもたらす存在とされてきました。見どころ、ご利益満載の土師祭、今年もご成功をお祈り申し上げます!

●プロフィール
やまむら・たかよし:北海道大学観光学高等研究センター教授、埼玉県アニメの聖地化プロジェクト会議座長